

- 1 派遣期日 (1) 平成23年 7月30日(土)  
(2) 平成23年 10月14日(金)

2 研修先

- (1) 会場名 人権教育啓発推進センター  
所在地 東京都港区芝大門2丁目10番12号 KDX芝大門ビル4F  
(2) 学校名 水戸市立内原小学校  
所在地 水戸市内原町1451番地

3 研修内容

- (1) コンパシート・セミナー【講師 福田弘(筑波大学名誉教授)】

講義1「人権教育の国際的動向と『コンパシート』の意義」

○内外における人権擁護および人権教育の歩み

1945年 6月 国連憲章…ここが出発点

1945年 11月 ユネスコ憲章…人権教育のスタート(教育を通して人々の心の中に平和の砦をつくる)

1946年 11月 日本国憲法公布…恒久平和・主権在民・人権尊重

1948年 12月 「世界人権宣言」…国連総会で採択

1994年 12月 「人権教育のための国連10年」決議(日本は積極的に関わった)

2005年 1月 「人権教育世界計画」第1フェーズ開始(2005~2009年)

2005年 1月 「人権教育のための世界計画第2フェーズ行動計画」

2011年 10月 「人権教育および研修に関する国連宣言」採択予定

○『コンパシート【羅針盤】—子どもを対象とする人権教育総合マニュアル』とは、ヨーロッパ協議会が2007年に刊行した人権教育マニュアル

- ・子どもの教育に関わる大人(教育関係者、指導者、教師、保護者や親たち)に、価値や社会的問題について子どもたちと話し合うための実践的なツールを提供
- ・市民権、民主主義、差別、教育と余暇、環境、家庭及びそれに代わる子育て、ジェンダーの平等、健康と福祉、メディアとインターネット、参加、平和と紛争、貧困と社会的排除、暴力という13のテーマをめぐって構成

講義2「人権とは何か」

○人権の本質と特徴

- ・人権とは、すべての人が平等に、普遍的に、永遠に持っている諸権利

○子どもの権利とは…「子どもの権利条約」の四つの基本原理

講義3「人権教育の基礎理論」

○人権教育とは

○人権教育の一般的目的

○子どものための人権教育の目標

人権の学習は、人権文化全体の基礎である相互信頼及び社会的寛容性を育てることをめざす。

○人権教育が育成を目指す資質や能力…知識—技能—態度

○人権教育の方法原理

コミュニケーション、批判的思考、主張活動、責任、寛容性、他者の尊重などに関わる態度や価値は、教えることはできない→経験を通して学ぶ他はない→協力的、参加的、能動的な学習が必須。

○体験的な学習

<アクティビティ>

①「ウサギの権利」

②「欲しいもの・必要なもの・必要不可欠なもの」

※『コンパシート』に載っているいくつかのアクティビティを体験し、方法などを学ぶ。

(2) 水戸市立内原小学校公開授業研究会

【研究課題】

「自分とみんなのよさに気づき、夢や希望の実現に向けて生き生きと取り組む子どもの育成～人権感覚・人権意識を高める縦割り班活動の工夫や伝え合う力の育成を通して～」

全学年縦割り班活動

『友達大発見（名探偵～内小キッズ～）』

指導者 各担任

場 所 各教室・音楽室・英会話室

○ねらい

ゲームを楽しみながら相互理解やリレーションを深めるとともに、シェアリングを通してお互いのよさを認め合う。このような活動を通して、児童の自尊感情を高めつつ人権感覚を育んでいく。

○授業の流れと指導者の研究主題へのアプローチ

＜ウォーミングアップ＞グループジャンケン

- ・教師対グループでジャンケンし、グループの友達と何を出すか相談して決めることで、リレーションを高める。教師はジャンケンボードを使って楽しい雰囲気をつくる。
- ・インタビュー風の感想発表を通して、他者理解をしようとする意欲を高め、本時のめあてをつかませる。

＜エクササイズ＞『名探偵～内小キッズ』（テーマに合う人を探し出し名前を集める）

- ・6年生と教師とのデモンストレーションをして、低学年にもルールを把握しやすくする。
- ・教師の言葉かけを通して、児童の活動意欲を高める。
- ・1回のインタビューで1つの質問とし、多くの児童と交流できるようにする。インタビューできない児童がいる場合は、児童の中で配慮し合ったり教師が支援したりする。

＜シェアリング＞大きな円をつくって座り、活動の感想を話し合う

- ・ビンゴした数を認め讃えた上で、友達に関する気づきについて話し合う。
- ・発表者に対して賞賛しながら全体に返すことで、温かい雰囲気の中で他者理解ができるようにする。
- ・めあてを再確認することで、お互いのよさに気づき、認めあえるような感想を引き出すようにする。
- ・心を込めて拍手するように助言し、発表者の自己肯定感を高めるようにする。

＜エンディング＞あいさつをする→まとめをする

- ・音楽を流して楽しい雰囲気の中で、友達と目を見てハイタッチをする。多くの児童が関わられるようにする。
- ・児童の活動から感じ取ったことを全体に返し、次時の活動につながるようフィードバックさせる。

4 感想

(1) コンパシート・セミナー

人権教育に関する歴史を学び、その必要性を改めて感じる事ができた。また、コンパシート資料の中のいくつかのアクティビティー体験を通して、人権教育推進のためには、道徳や学活を通して自他の人権を思いやる気持ちを高めていくとともに、知的理解による視野の拡大も必要であることを学ぶ事ができた。人権尊重に対する見方や判断基準は、人それぞれの人生経験や環境、そして知識などによって違い、方向性を間違わないようにするためには、お互いの思いを伝え合うシェアリングの場がとても大切であることも感じる事ができた。

(2) 水戸市立内原小学校公開授業研究会参観

どの指導者も児童に寄り添い、一人一人を大切に活動を進めている姿が印象的だった。手をつないだりハイタッチをしたりして互いにふれ合い、円をつくってみんなで顔つきあわせながら思いを伝え合うなど、相互理解のための活動のさせ方が参考になった。